

2019 年度・多元研 CORE ラボ(拠点型・国際型・拠点アライアンス型・新規分)設置要綱

CORE ラボ概要と選考

タイプ	拠点型・国際型・拠点アライアンス型
研究代表者 (PI)	<p>【拠点型】 受入教員（多元研）との共同研究により国際的に注目される研究実績を有する国公立大学等に所属する若手研究者（准教授・助教など(特任を含む)）、拠点活動を実施している外部機関に所属する若手研究者（同上）。</p> <p>【国際型】 国際共同研究を推進し、海外に CORE ラボのブランチを用意できる若手研究者（同上）。</p> <p>【拠点アライアンス型】 多元研を含む 2 研究所以上からのアライアンス研究者との共同研究を推進する外部機関に所属する若手研究者（同上）または同枠組みにおける多元研に所属する若手研究者（同上）。</p>
メンバー (共同研究員およびスタッフ)	<ol style="list-style-type: none"> 1. アライアンスまたは拠点共同研究を遂行する多元研の教員（受入教員） 2. 拠点共同研究参加者 3. 必要に応じ技術支援員（CORE ラボ経費での雇用） 4. その他必要と認められる研究者 <p>注：1 は必須（受入教員@多元研は必須）。</p> <p>注：多元研若手研究者を PI とする場合には、多元研の職員の中から別に受入教員を定めることとする。</p> <p>注：院生もメンバーとして含むことができる。</p>
研究内容	<p>物質・デバイス領域共同研究拠点を構成する 5 研究所におけるネットワークの特性を活かし、先端的・学際的・分野横断的で組織的な共同研究を濃密にかつ動的に実施することで、国際的に顕著な研究成果や飛躍的な研究発展を実現できる研究テーマであって、「物質・デバイス領域共同研究拠点」事業、もしくは「人・環境と物質をつなぐイノベーション創出ダイナミック・アライアンス」プロジェクトの趣意に合致した実践的共同研究内容であること。上記の実践を持って拠点活動・事業の発展に寄与できる研究であること。</p>
研究スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・原則として多元研受入教員の研究室内で研究スペースを確保すること。 ・海外をブランチとする CORE ラボの場合には、海外受入れ機関の了承の上、研究スペースを確保すること。
研究費	70 万円～150 万円（2019 年度：成果に応じて追加配分する場合がある）
研究期間	採択日から 2021 年 3 月末迄（2 年度目には継続申請書類の提出）。但し研究成果によっては 1 年度または 2 年度の延長を認める（委員会で審査）。
募集方法	<p>受入教員（多元研）による推薦制とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所定の様式に記載の上、多元研の受入教員及び拠点事務 (five-star@grp.tohoku.ac.jp) 宛へメールにて送付すること。 ・受入教員は内容を確認ののち、多元研アライアンス委員会委員長高橋正彦教授 (five-star@grp.tohoku.ac.jp) 宛にメール添付により応募。
募集件数	1～3 件

募集期間	2019年1月23日(水)～2月22日(金)
選考方法	多元研アライアンス委員会委員(必要に応じて所内よりオブザーバーを追加)による書類審査。 必要に応じてヒアリングを実施する。
選考の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの共同研究、拠点共同研究実績(概要、成果) ・ 研究業績(原著論文、総説・解説、国際会議発表、プロシーディングス、特許(産学連携をめざす場合には必須)) ・ 研究目的および計画(新規性、革新性、必要性、計画の妥当性、PIの来所計画*) ・ 研究チーム(構成、役割分担)の妥当性 ・ 期待される成果(学術的、拠点・アライアンス活動上(産学連携を目指す場合には特に社会・国民生活への貢献上期待される効果についても記載すること)) <p>選考は上記項目毎に採点の上、総合的に判断する。</p> <p>*PIは2019年度ならびに2020年度内に各々延べ60日以上のコアラボ滞在が望まれる。海外コアラボブランチの場合においては、先方の機関に、同様に各々延べ60日以上のコアラボ滞在をすることが望まれる。(60日以上のコアラボ滞在について、共同研究メンバーのコアラボ滞在日数を含めることができる。)</p>

実施中および実施後に求められる事項

成果の公表等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共著による成果公表(論文、学会、ホームページ等)、特に共著論文発表、を行うこと。(論文等への謝辞記載を必須とする) ・ アライアンスの各種行事(成果報告会、グループ分科会、若手研究会など)や拠点共同研究行事(成果報告会など)への積極的な参加・成果発表。 ・ 各年度の12月頃に進捗状況報告書の提出(業績集) ・ 例年12月に開催される多元研発表会での(ポスター)発表 ・ 年度毎の成果報告書の提出。
評価(継続審査)の観点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究成果(新規性、革新性、顕著性) ・ 研究業績(原著論文、総説、解説、国際会議発表、プロシーディングス、特許等) ・ 活動実績(ラボ滞在日数、分科会等への参加、プレスリリース等) ・ その他(受賞、昇任等)
その他	PIには称号付与も可。 外部資金獲得はこれを積極的に推奨する。

問い合わせ先:

東北大学多元物質科学研究所

多元研アライアンス委員長 高橋正彦

多元研アライアンス委員長特別補佐 垣花真人

TEL:022-217-5203 / E-mail:five-star@grp.tohoku.ac.jp